

# まはり

酒田市農業委員会報 No.30



「代かきと鳥海山」 ～八幡・前川地区～

## 特集

集落営農組織の法人化に向けて(2、3面)

～ 法人化でTPPに打ち勝つ!! ～

平成25年度農業委員会目標(4面)

酒田市副市長インタビュー(5面)

新規就農者の紹介 Fresh Farmer はじめの一步(6面)

若手農業者リレーエッセー かぜ

農業一筋 短信(7面)

酒田の“旬”を食す -春- (8面)

25年 春季号

# に打ち勝つ!!

## 特集

### 集落営農組織の 法人化に向けて

TPP交渉参加表明等多くの問題を抱える中、将来を見据え法人化の動きも活発になっていきます。今回は法人化した代表者に決意を聞きました。

#### 「地域を守る」



農事組合法人 農友前川代表理事  
土門 歳夫

平成二五年一月七日にJA庄内みどり管内では二例目となる農事組合法人「農友前川」を設立致しました。前川地区においても他地区と同様農業後継者不足となっており、将来の農業経営及び農地を守るという観点から大きな不安を抱いております。そんな中、法人化を目指した営農組合が設立されました。大型機械が導入され、担い手指導員及び行政からの指導を受け、何十回も説明会や会合を

持ち、その結果農事組合法人を立ち上げる事になりました。

平成二四年一月二三日にJA庄内みどり阿部組合長はじめたくさんの方々の出席のもと設立総会を開催し、定款の設定、役員の選任等を行いました。

構成員は九人、経営面積は約一八畝、水稲栽培を中心に将来は園芸作物にも取り組んでいく計画です。水稲はそれまで問題となっていた移植栽培から鉄コーティング種子の直播栽培へ拡大していく方針です。また農地の集積等も考えています。経営理念として次の五項目を掲げ農事組合法人としてスタートしました。

#### 経営理念

一、限りなくコスト削減と効率性を追求します。一人一人が知恵を出し、汗を流し

て変化に対応します。

一、作業担当と責任性を互いに理解し、思いやりの精神で元氣溢れる組織を目指します。

一、地域との交流と農業経営者と共同して、地区内の環境・景観保全に努めます。

一、栽培に当たっては、マニュアルを遵守し、安全・安心・信頼性の高い・競争力の高い農産物を作ります。一、将来の子供たちに職場の提供と「やってみたい」と言われる魅力ある環境の整備、農業技術の伝承を行います。

スタートしたばかりでまだまだ課題が多く小さな組織ですが、関係各位の皆様方にはこれまで同様変わらぬご指導をお願い致します。



種子コーティング作業

#### 「地域の農地保全の 担い手と仲間」



農事組合法人 ビーンズ本楯 代表理事  
飯塚 将人

このたび、各関係機関より多大なご指導、ご尽力を賜りビーンズ本楯が農事組合法人として、新たなスタートを切るに至りました。

私共ビーンズ本楯については、平成一〇年に当時の農業政策に対応するため、本楯農振協議会による大豆コンバインの導入にともない、数名の若手後継者がオペレーターとして活動を始めたことがきっかけで発足した大豆作業受託組織であります。

また、平成二二年度に大豆生産体制の再構築を図るうえで、本楯大豆協議会が新設され、新たな体制の下に大豆関連機械の運営管理を含めた作業受託組織

# 法人化でTPP

として、昨年まで活動を継続して参りました。

本楯地区においても農業従事者の高齢化、担い手不足が懸念されることから、平成二三年からビーンズ構成員の間でも法人化が話題にのぼるようになりました。組織を法人化することで、国の政策支援事業への適用や税制優遇措置等がありますが、何より地区の仲間と共に、同じ目的意識を持ち「励まし合い」「支え合い」ながら農業をやれることが一番のメリットであると思っております。また、このことが後継者の育成、確保にも結びついてくれるものと期待しています。

折しも政府は、TPP交渉参加を表明し、いよいよ米の関税撤廃が争点となります。今後の交渉において、どのような結果になろうとも、法人化へ至った信念を貫き、構成員の仲間と共に乗り越えていく所存であります。当面は大豆の生産販売及び作業受託を主としながらも、将来は水稻の受託や園芸作物の生産販売にも取り組んでいきたいと

考えております。

手探りの中で船出した弱小法人ではありませんが、地域の皆さまからの付託に応えられ法人となれるよう、法人経営に携わる一人として責任の重大さを痛感しています。



畦ぬり作業も一段落

**\* 集落営農組織の法人化に向け、積極的に支援します!!**

平成二五年度、本市ではJAと連携し新たに次世代中心経営体育成支援事業を立ち上げ、集落営農組織や認定農業者に対し、法人化、経営強化における支援を推進します。

## ① 法人化支援

集落営農組織の法人化、法人経営初期段階のさまざまな相談支援のため、専門家相談員（法人化の懸案事項の相談、経営面での指導や相談）を年間複数回派遣します。

## ② 経営強化支援

人・農地プランの中心となる経営体に位置付けられた集落営農組織や認定農業者が行う、米・大豆以外の園芸作物導入、六次産業化等への取り組み（種苗や肥料の購入および機械や資材の導入）に対して支援します。支援内容については、市農政課までお問い合わせ下さい。

**\* 中心となる経営体は集落営農組織!!**

現在、六九ある本市の集落営農組織（特定農業団体）では、それぞれの地域において中核的な経営体として法人化の取り組みを進めています。

平成二四年五月、「人・農地プラン」の作成にあたり、※アンケート調査を実施しました。その結果からも、集落営農組織が地域の担い手として大変期待されていることが解りました。

あなたの集落・地域の農業（人と農地）を持続可能なものとするために、今後どうしたらよいと思いますか。

「何もしなくてよい」との回答は全体回答者の7%にとどまっており、大部分が「今ある地域の中心となる経営体（個人、法人、集落営農）に農地を集積することが必要」、もしくは「今後、地域の中心となる経営体を創出し、そこに農地を集積したり、青年就農者が参加したりすることが必要」と回答しています。

「集積の対象として適当と思う経営体」では、「集落営農」との回答が一地区を除く全地区で最も多く、「地域の中心となる経営体の候補」では「集落営農」もしくは「法人」と回答した割合も多かったことから、個人で頑張っている農業者も長期的には組織としての経営体のほうが望ましいと考えているようです。

※：平成二四年五月実施 対象者四、四七九人回答者一、三四八人  
回答率三〇・一%

# 農地を守り、農地を活かす!!

## 平成25年度目標 酒田市農業委員会

### 基本方針

T P P 交渉参加問題や耕作放棄地の増加、担い手の確保など、農業を取り巻く情勢は厳しいものがありますが、酒田農業の振興を図るため、下記のとおり平成25年度酒田市農業委員会活動重点目標を定めました。農家の皆さんのご理解とご協力をよろしくお願い致します。

### 平成25年度 酒田市農業委員会活動

#### 重点目標

1. 農地法の適正な運用及び遊休農地（耕作放棄地）の解消
  - ・遊休農地解消に向けた活動と指導
2. 農業委員会活動の「見える化」の推進
  - ・地域農業の世話役として、積極的な活動と情報提供
  - ・「人・農地プラン」への積極的な参画
  - ・出前農業委員相談の実施
  - ・市広報の活用他
3. 新規就農の推進と支援
  - ・農地の提供に関する情報の発信
4. 担い手への農地集積と農業経営基盤強化促進法の円滑な推進
5. 一時転用（山砂採取）に対する調査・検討
6. 農業者年金の加入推進
  - ・農業従事者の安心で豊かな老後を支えるための普及推進



耕作放棄地解消事業（サツマイモ畑）

### 決定 第1回 農業委員会の出前相談

農地の貸借・売買・転用…  
 その他農地に関することおよび農業者年金についてのご相談はありますか!?  
 農業委員が出張してご相談をお受けいたします。

日時：7月3日(水) 午後1時30分～  
 場所：広野コミュニティセンター  
 （広野地区以外の方も参加できます）

※今後、上記以外の地区でも実施していく予定です。

#### 酒田市で新規に就農する方の農地確保を支援します

農業者の高齢化、離農により農業人口が減少し、農業の衰退、遊休農地の増大が懸念されています。新規就農を促進するために、新たに農業を始める方へ、農地の確保の面から支援をおこないます。

本市で、新たに農業（稲作、園芸）を始めようとする方で、農地を貸借したい方を支援します。（家庭菜園や趣味的に農業をおこなう方については対象外）

(1) 農地の面積について

貸借する場合 ↓ 一〇<sup>坪</sup>

(二、〇〇〇<sup>m</sup>) 以上

売買の場合 ↓ 五〇<sup>坪</sup>

(五、〇〇〇<sup>m</sup>) 以上が必要です。

(2) 貸借期間は原則三年です。

(3) 就農後五年間の営農計画書を作成してもらいます。

※五年後に目標としておおむね二〇〇万円の農業所得をあげられる計画であるか確認させていただきます。

ね二〇〇万円の農業所得をあげられる計画であるか確認させていただきます。

# 農業から酒田の発展に期待

## 酒田市副市長インタビュー

前回好評だった本間市長へのインタビューに続き、今回は、平成二四年二月一八日より就任した副市長に農業や食に対する想いをインタビューしました。



### 酒田農業のイメージは？

米づくりと砂丘地農業によって日本の農業振興に先導的な役割を担ってきた地域。

酒田の未来、地域振興を考える上では欠かせない大切な存在。農業の発展がなければ酒田の発展はないと思っている。

### 農作業の経験は？

結婚して間もないころ、春になると妻の実家の手伝いでビニールハウスでの播種作業をやったこと。暑くて腰が痛くて

大変だったが、伊藤農業賞の受賞者でもあった義理の父から農作業の基本を教わった気がする。

### 食へのこだわりは？

若い時は、酒田のフランス料理に魅せられて、「食の都庄内」



親善大使でかつて市民表彰も受けた太田政宏シェフのおられるレストランに行ってはいろいろな料理を堪能した。

今は、あまり手の込んでいない単純な味が好みになっている。そしてあげれば温かいご飯に熱々の油揚げと醤油、これだけで十分満足。そういえば、新潟に住んでいた少年時代、酒田に来ては熱々の油揚げと琢成小近くのだんごを食べることが無上の喜びだったことが思い出される。

### おふくろの味といえば？

母親の料理で思い出すのは、わらびたつき、とろろ飯、孟宗汁、ただちや豆ご飯、栗ご飯など。

### 好きな酒田の農産物は？

酒田女鶴、赤ねぎ、アスパラガス、おとめ心、アンデスメロンそして刈屋梨。

酒田を代表する農産物は、どこにも負けない一級品だと確信している。

### 酒田農業振興発展のために必要なことは？

国内外の大消費地に売り込むための環境整備と農商工が連携した新たなチャレンジが求められる。

まずは、やる気のある生産者の育成、付加価値を高める農産物生産の探求、加工・小売・流通などの異業種協力によって農産物を確実に売りさばく独創的な仕組みづくりが必要と考えている。

### 副市長 略歴

#### 丸山 至

昭和二九年三月七日生

小学四年まで酒田で育った後、父親の仕事で新潟に引越すが、高校から酒田に戻る。

大学を卒業後、昭和五二年酒田市役所に入庁。

多くの部署を経験し、財務部長、総務部長を歴任後、平成二四年二月一八日から酒田市副市長に就任。

# Fresh Farmer はじめの一步

## ～ 新規就農者の紹介 ～



袖浦地区・広岡新田  
阿部 辰哉

### 大切なもの

私は高校を卒業して三年程度元企業へ就職し、その後農業に携わってきました。私の仕事は水稲を主にやっていますが、家の主な収入はメロンです。今はまだ父が主となってメロンや他の作物を管理、栽培しています。しかし、いずれ私が主となって父がやってきた事を継いでいかなければならなくなりそうです。その時の為に今、私は父や周りの農家の人たちがやっていることを見たり聞いたりして、今後活かせるようにしていきたいと思っています。

就農してすぐに青年部に入り、何も分からない私を温かく迎えてくれた地元先輩の方の為、又これから入ってくるであろう未来の後輩の為に私は今

まで以上に農業に対して実直に又誠実に向き合って行きたいと考えています。また、私は今年結婚し子供も産まれました。守るべき者が出来た事で私はこれからもっともっと頑張っていかなければならないと思っています。

今の私の夢としては、私の家の農業を法人化し会社の経営者として農地を拡大し、遊休農地を減らす為、品質の高い作物の大量生産をしていきたいと考えています。今の私にはまだまだ遠い未来の夢ですが、今日の自分より明日の自分の方が成長出来るよう日々精進していきたいと考えています。



～ 若手農業者リレーエッセー～

私は就農して四年目になります。就農するまで農業に全く接せず

にきて何も分からないままスタートしましたが、家族や周囲の方々の支えもあり、最近では一年を通して何を今すればいいのかよく理解してきたところです。家では水稲、大豆、小菊、ネギを主に栽培しておりまだまだ勉強することはいっぱいです。

就農してある程度仕事を覚えてきた頃にはふと思ったのが、このまま家の栽培作物を作り続けても良いと思ってしまうのですが、何か新しい事に挑戦してみたいと思う気持ちがありました。そこで何をしたいのか考えても、今一つ何をしたい

## 人との繋がり

本橋 飯塚 卓 矢

いのか分からないという非常にもやもやした心境でした。その事を妻に相談したら「今はそんな事より農家の人はもちろん異業種の人達とも沢山出会って色々な知識や意見を聞いて、その人達との繋がりを大切にする期間にすれば」と言われ、これだと思えました。今ではもやもやした思いが無くなり、以前より沢山の研修や飲み会に進んで参加するようになりました。おかげで色々な人と出会って多くの話を聞く事が出来、充実した日々を送る事が出来ています。また、沢山の方々のご指導もあり新規就農で軟白ネギの栽培を始める事も出来ました。一つステップアップする事ができ、改めて交流が大事だと感じました。

今後人との繋がりを大切にして自分の糧にし、また、誰かの糧になればと思えます。この記事を書く事でさらに人との繋がりが増えれば幸いです。

# 農業委員がおじゃましてお聞きしました!

## 農業 一筋

南遊佐地区・米島

佐藤 功  
トシ子 ご夫妻



功さん（八一歳）とトシ子さん（八〇歳）のお話を伺いに作業場を訪ねた時、お二人は仲良く並んでネギの種蒔き作業中でした。

佐藤さんのお宅は、息子さん夫婦が行っている水稲と大豆中心の農業経営ですが、一〇年以上前から行っているネギの栽培は功さんが担当しています。現在は、自家消費と知り合いに配る程度の栽培ですが、以前は二反以上も栽培していたそうです。

功さんは、学校を卒業後に就農しましたが、農閑期には建築

関係の仕事経験があり、その経験が今でも活かされているのか、お話しを伺うことをお願いするために自宅を訪れた時に、庭の柿の木の高い所まで登って剪定作業をしている功さんの若さに驚かされました。

奥さんのトシ子さんは功さんといつも一緒に、傍らで優しくアドバイスを送っています。

功さんに元気に農業を続けるための秘訣を尋ねると「食事は腹八分目」「晩酌はお酒一合」だそうです。「農作業をした後の晩酌の一杯が特別に美味しい」とのこと。

六〇年共に歩んできたお二人、これからも仲良く生涯現役を目指して頑張ってください。

（佐藤六雄委員）



## 短信

### 農業者年金受給権者

現況届の提出は六月末まで

農業委員会事務局の新体制

提出や市役所閉庁時の地下宿直室での受付も行います。

現在、農業者年金を受給されている方が、引き続き年金を受給するためには、「農業者年金受給権者現況届」を必ず提出しなければなりません。現況届の用紙は五月下旬に、農業者年金基金から直接受給者の皆様へ送付されます。

六月三日からの受付となりますので、農業委員会事務局、各支所の窓口まで提出してください。

なお、農業者老齢年金のみ受給の方については、郵送による

事務局長	土田 清一
事務局次長	後藤 学
農地主査兼農地係長	佐藤まゆみ
農地係調整主任	五十嵐則子
農地係主任	安倍 誠
農地係主任	阿曾 大介
農地係主事	住石 孝人
八幡支所調整主任	
菅原 正志	
松山支所主任	渡部 真澄
平田支所調整主任	
高橋 美津	

### 新農業委員紹介

佐藤 修 農業委員



庄内農業共済組合からの推薦による選任委員の矢口信也氏が退任されて、四月二日付で新しく佐藤修氏が選任されました。

よろしくお願ひします。

# 酒田の“旬”を食す 春



「食の都庄内」  
親善大使  
レストランロアジス  
グランシェフ  
**太田 政宏**

## 「春とともに桜鱒」

山菜の芽ぶきと共に庄内に桜鱒の旬がやってきます。海鱒の漁は3～6月で、4～5月になると魚体も大きくなり脂ものって美味しくなります。煮てよし焼いてよし、蒸しても大変味が良く、お祭りシーズンになるとどの家庭の食卓でも見られます。日本海に鱒の大群がいるという事の第一発見者は山形県の指導船最上丸で、日本で一番多くの鱒を捕ることが出来るのだそうです。(伊藤珍太郎著：庄内の味)

さて今回は桜鱒をフレンチベルモットで蒸し、その蒸し汁を加えたクリームソースで味わって下さい。付け合わせの野菜はこの時期に採れる山菜やニラなどと合わせました。



桜鱒のベルモット蒸しクリームソース

## 桜鱒のベルモット蒸し クリームソース

### 材料（4人前）

- ・桜鱒…70gを4枚
- ・帆立貝…4ヶ
- ・ベルモット…30cc
- ・バター…5g
- ・セロリ…1/2本
- ・人参…1/5本
- ・あさつき…12本
- ・バター…5g
- ・アスパラガス…4本

### クリームソース用

- ・帆立貝のひも…4ヶ分
- ・白ワイン…30cc
- ・ベルモット…50cc
- ・水…50cc
- ・セロリの葉…少々
- ・ローリエ…1/2枚
- ・生クリーム…200cc
- ・バター…20g

### 作り方

- ① 帆立貝のひもとベルモット、白ワイン、水、セロリの葉、ローリエを入れ火にかけ、アクを取りながら約15分煮てクリームソースのだし汁を作る。
- ② セロリ、人参をマッチ棒状に切り、あさつきはさっと茹でる。人参、セロリ、水、バターを鍋に入れ火を通す。あさつきは合わせる。
- ③ アルミホイルにバターを塗り、桜鱒、帆立貝をのせ、塩コショウをしてホイルで包む。その中にバターとベルモットを入れて蒸し釜で蒸す。
- ④ ①のだし汁をよく煮詰め生クリームを入れバターを入れる。
- ⑤ 皿に桜鱒と帆立貝を盛り付け、上に野菜をのせソースをかける。アスパラガスを飾る。

## 編集後記



この会報が届く頃は本田作業に忙しいと思います。長い冬ごもり生活で反射神経も鈍化したかちよっぴり不安。「一年と言わんね」とは人生の先輩達の言葉、「なるほど」と頷けます。愛犬との散歩や孫の子守では、むしろこちらの方が鍛えられていくと感ずきます。農業に従事して三〇年余り、還暦過ぎの自らの心身と話し合うようにになりました。春作業の事故、とりわけ「トラクターの下敷きになる」が多いようです。ちよつとの無理と、甘い予測が事故につながります。大切な相棒・自分が毎年人間ドックを受けるように、整備点検、安全確認。エンジンを切るまで緊張の連続です。一人作業も多く、万一を考えて家族に行き先と帰宅時間を告げるのも大事なことです。時々「外出すると居所不明」と言われる小生の反省込めです。T P P 参加表明後、次々と農業関係情報も入ってきます。また、温暖化の影響か、春は大型低気圧が発生し易いと報道も。想定外のことがまた起こるのかと不安もありますが、自分に出る事を着実にやっていきたいものです。農地を荒らすことなく次世代に繋げていけたらとの願いを込めて、二五年度作業開始です。

(六)